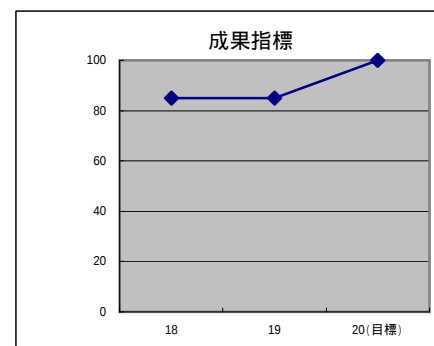
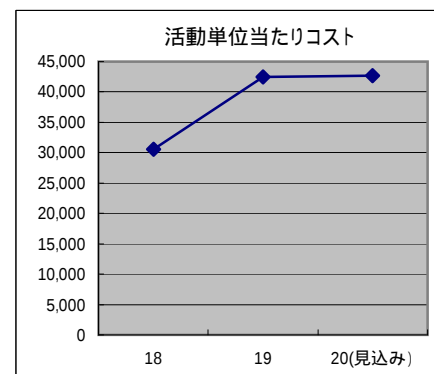


事務事業名		海外招聘英語指導事業		予算科目	会計	1	一般会計	
					款	10	教育費	
					項	3	中学校費	
					目	2	教育振興費	
					事業	19	海外招聘英語指導	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち	作成部署				教育委員会事務局学校教育室学校教育課
	施策(節)	2	学校教育	連絡先				072 - 958 - 1111 内線 4251
	施策の方向	(1)	義務教育の充実					
関連する計画等								
事業の目的	対象(誰を・何を)							
	小・中学校の児童・生徒							
	意図(どういう状態にしたいのか)							
事業の内容	英語力の向上を図るとともに、国際理解教育の推進に資する。							
	通常授業において英語教諭とともにチームティーチングにより、ALT(英語指導助手)のオーラルコミュニケーションを中心に授業展開を行なう。また、小学校英語教育の発展のためにも、適宜小学校への派遣や教材研究づくりのスタッフとして活躍していただく。ALT配置数 3名							
根拠法令等		羽曳野市外国人英語指導助手承知事業実施要綱						
事業開始時期		☐ 昭和 ☒ 平成 6 年 月開始 ☐ 明確にはわからない						
事業開始時からの状況変化		H18年に2名から3名に増員						
市民や議会の要望		児童生徒及び保護者より常駐化の要望が寄せられている。						
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()						
委託先		☐ 外郭団体委託 名称 ☐ 民間委託		委託内容				

区 分		18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		0	0	0
人件費【2】 (千円)		6,060	8,460	8,460
職員数	正規職員	0.15 人	0.15 人	0.15 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	2.00 人	3.00 人	3.00 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		6,060	8,460	8,460
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)			
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)			
	一般財源 (千円)	6,060	8,460	8,460
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
授業日数 日		198	199	198
児童生徒在籍者数(5月1日) 人		10,540	10,626	10,572
活動単位当たりコスト(【A】 / 【B】)		30,606 円	42,513 円	42,727 円
市民1人当たりコスト(【A】 / 人口)		50 円	70 円	71 円



成果指標	指標名	指標設定の考え方	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	要望に対する充足率(%)	派遣希望校に対する派遣実施の割合	100	100	100
	式) 派遣実施校数 ÷ 派遣要望校数 × 100		85	85	85.0%
	式)				達成率(%)

担当 部局 評価	総合評価
	☒ 拡大・充実 ☐ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民営化・民間委託 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ 完了
	評価の理由
	国際化の潮流の中で、小学校における英語教育も導入される中で、今後も拡充が必要である。また、英語指導助手による専門的指導による英語力の向上は効果が大変高い。
	今後に向けて(取組方針、具体的な改善改革案など)

中学校区に1名のネイティブスピーカーを1年間を通して配置（常駐化）することが望まれるところであり、小学校における外国語活動の導入も視野に入れ、今後のA L Tの活用・充実のあり方を検討する。